

実施期間	2021-2023	実用化開発場所	いわき市	連携自治体	—
------	-----------	---------	------	-------	---



株式会社シンテック

人工呼吸器の重要関連品である 人工鼻・チューブの一体型製品の国産化

コロナ感染の治療において、人工呼吸器は必須です。この機器の国産化比率は42%であり、関連製品は4%以下です。本事業では、機器にとって重要関連品である人工鼻・チューブの一体型製品の国産化を図ります。

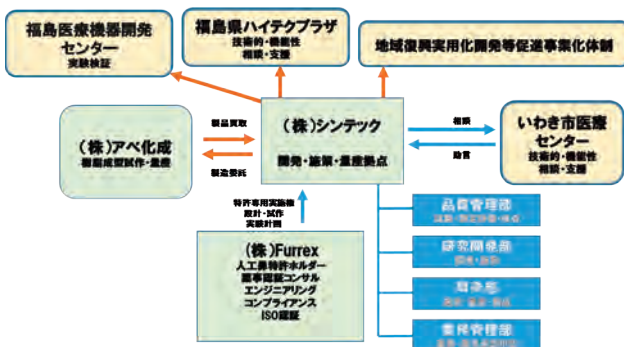


代表取締役
赤津 和三

開発背景 新型コロナウイルス感染症が国内はもとより世界的に猛威を振るっています。治療には人工呼吸器は必要不可欠であり、市場は拡大傾向です。しかし、国産生産比率は低く、供給が懸念されているため、本開発製品による国産比率の向上を図ります。

実用化時期	令和5年度（2023年度）
販売製品・サービス名	人工鼻・チューブの一体型製品
成果物（最終年度）	人工鼻・チューブの一体型製品
創出される経済効果	生産体制構築により新規雇用10名を予定。いわき市に地元企業との連携による医療機器開発製造拠点を構築

要素技術	・特許及びClass II薬事認証済みの加湿機能機構
開発のポイント	従来の人工鼻は、保温付加をする際、別機器の事前準備などの追加負担がありました。本製品により負担軽減はもとより、現場の省スペース化が可能となります。



浜通り復興に向けたメッセージ

「ふくしま・いわき発医療機器を世界へ」をスローガンに、地元企業との連携による浜通り地域内の医療機器開発製造拠点構築と経済効果創出を目指します。

雇用数	実績	—
	今後の予定	10名（うち、地元雇用者10名）
地元企業との連携	拠点立地件数(立地場所)	—
	R&D・開発	—
	資材調達	—
	製造	量産化を見据えて地元企業1社と協議中
	販路開拓	—

成果品・試作品	人工鼻・チューブの一体型製品の量産型プロトタイプ
知的財産権	1件（特許権 出願検討中）
開発技術	・特許及びClass II薬事認証済みの加湿機能機構
自治体との連携実績	—
代表的な企業との連携実績	—
メディア露出や受賞歴	—

連絡先

株式会社シンテック |
福島県いわき市錦町江栗前25番地
☎ 0246-77-0110 (担当: 赤津和三)
✉ k-akatsu@syntec-jp.co.jp

投資規模	1~5億円
開発人数	10~29名
販売時期	令和6年度（2024年度）
販売形態	医療機器販売商社より、国内・海外に展開する
販売見込先	—
協業希望先	樹脂成型企業及び医療機器 Assy 企業